

第228号

平成25年6月10日

病院だより



国際親善総合病院のルーツ その2

Hiromichi Yamada

山田 裕道

知っておきたい心臓病のお話

Mizuhiro Arima

有馬 瑞浩

第4回キッズセミナー 医療体験のご案内



国際親善総合病院

〒245-0006 横浜市泉区西が岡 1-28-1
TEL 045 (813) 0221 (代表)
FAX 045 (813) 7419 (総務課)

当院ホームページをご覧ください。

<http://shinzen.jp>



国際親善総合病院のルーツ

その2

当院のルーツである1863（文久3）年設立のTHE YOKOHAMA PUBLIC HOSPITAL（ザ ヨコハマ パブリック ホスピタル）が赤字経営のためわずか3年で閉院されたことは前回お話ししました。このころ横浜には他の病院としてオランダ海軍病院（山手82番：現在の横浜雙葉学園とブラフクリニックがある場所）とフランス海軍病院（居留地9番：現在のホテルニューグランドがある場所）がありました。このうちオランダ海軍病院はオランダ人のみならず各国の居留民の診療もおこなっていましたが、こちらの病院も赤字経営のためオランダ領事館は病院の閉鎖を考えていました。

そこで各国居留民からなる委員会はTHE YOKOHAMA PUBLIC HOSPITALにかわるべき公共病院としてオランダ海軍病院に白羽の矢を立てます。イギリス領事マイバークが司会をする委員会において慈善事業家でもあるイギリス人貿易商ウィルキンが横浜居留地における公共病院の必要性を力説し、各国居留民の同意を取り付け、オランダ領事館と交渉し山手にある病院の建物と敷地をそっくりそのまま譲り受けます。1867（慶応3）年、名称をTHE YOKOHAMA GENERAL HOSPITAL（ザ ヨコハマ ジェネラル ホスピタル）と改称し、ここに横浜で2代目の公共病院が誕生しました。

院長職は引き続き元オランダ海軍軍医のDe Mayerが担当することになりました。また福井藩出身の医師橋本綱常（橋本左内の弟で後の日本赤十字病院院長）もここでDe Mayerから教えを受けたといわれています。

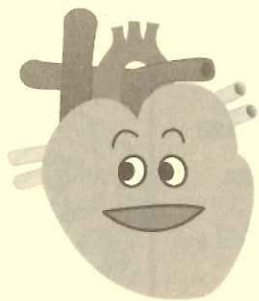
THE YOKOHAMA GENERAL HOSPITALは「各国貴賤無格別療治看病」をモットーとし、日本人患者も診療するようになります。「どこの国の人であれ貴賤を問わず差別をせずに治療にあたり看病する」という意味でしょう。この精神は今も国際親善総合病院に引き継がれています。

知っておきたい心臓病のお話

～薬物療法・抗血栓療法について～

血栓症（けっせんしょう）とは血管内に血液の塊が形成され、血流が閉塞されて血管が詰まって発症する病気のことです。文字通り、血管にふた（栓）ができて閉塞してしまう病気で、代表的な疾患として心筋梗塞、脳梗塞、肺血栓塞栓、深部静脈血栓症などがあります。日本人の死因の第1位は癌ですが、第2位は心筋梗塞などの心疾患、第3位は脳梗塞などの脳血管疾患です。食生活の欧米化や車社会などの生活習慣の変化、また今後は高齢化社会において心筋梗塞や脳梗塞などの血栓症は更に増加する可能性があります。これらの疾患は、多くの場合自覚症状のないまま突然発症し、発症にと

もない症状は急速に悪化、たとえ命を取り留めたとしても再発の恐れや重大な障害をもたらします。これらの血栓症に対して、血小板の働きを抑えて血液をさらさらにするアスピリンなどの抗血小板療法、凝固の働きを抑えて血



液をさらさらにするワーファリンなどの抗凝固療法、できてしまった血栓を溶かす線溶療法があります。

今回はステント治療などで使われる抗血小板療法や、心房細動の塞栓症の予防などで使われる抗凝固療法を中心にお話したいと思います。

循環器内科部長 有馬 瑞浩

このテーマは

平成25年7月12日(金) 15:00から約1時間

の健康懇話会にて講演予定です。

(入場無料、予約不要、どなたでもご自由にご参加ください。)



国際親善総合病院創立150周年記念企画

第4回キッズセミナー

小学3～6年生対象!医療体験のご案内

**参加
無料**

2013年の夏は、国際親善総合病院で医師・看護師の仕事を経験しよう!

今年は、医師と看護師の体験を通し、医療の世界に触れる機会を提供したいと思います。

また、創立150周年記念企画として、前回のキッズセミナーにてご参加いただいた方からご要望が多かった、現役の医大生および看護学部生による「医学部への道」、「看護学部への道」という講演会を医療体験に引き続き開催することとしました。多くの方のご参加をお待ちしております。

【日 時】 平成25年8月11日(日)

①3～4年生 医師・看護師体験 9:00～11:30 (受付8:30～)

講演会 11:30～12:30

②5～6年生 医師・看護師体験 13:30～16:00 (受付13:00～)

講演会 16:00～17:00

【会 場】 国際親善総合病院 外来フロア

【定 員】 ①3～4年生 30名 ②5～6年生 30名

【申込方法】 E-mail(kokusai@shinzen.jp)

「①セミナー名」「②住所」「③氏名(フリガナ)」「④学年」「⑤電話番号」を入力しご送信ください。

*参加決定の場合は、「セミナー受講票」をこちらから郵送します。

【締 切】 先着順 (※定員各30名になり次第締切)

【問 合 先】 国際親善総合病院 総務課 TEL045-813-0221(代)

1. 医師・看護師体験

- ① 外科医になってみよう!<その1>(腹腔鏡手術体験)
- ② 外科医になってみよう!<その2>(電気メス使用体験)
- ③ 整形外科医になってみよう!(ギプス・包帯体験)
- ④ 救命救急してみよう!(心臓マッサージ・AED体験)
- ⑤ 看護師になってみよう!(聴診器体験)
- ⑥ 助産師になってみよう!(赤ちゃんのお世話体験)

*5名1組になって上記6種類の模擬看護体験をローテーションします。

2. 講演会

テーマ: ①医師への道 ②看護師への道

*講師は、現役の大学生1年生(医学部・看護部)を予定しております。

この体験が将来の夢につながり、夏休みの良い思い出になることを願っております。

**国際親善総合病院
病院長 村井 勝**

